

せんだいメディアテーク建設事業

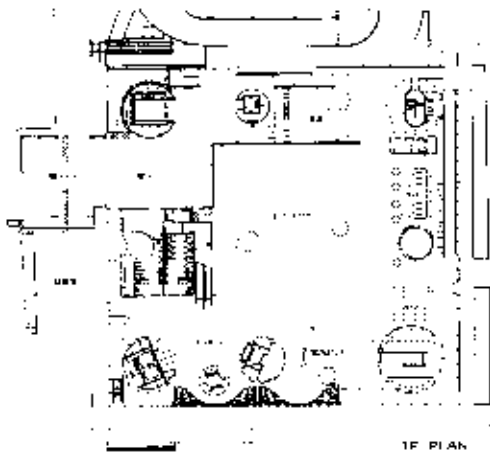
受賞機関 仙台市

はじめに

仙台市の中心部に位置する定禅寺通りは、七夕や光のページントの主要会場ともなり、市民の憩いの場所として杜の都仙台のシンボルになっている通りである。その通りに面して仙台の新しい文化の発信基地として、21世紀型公共施設「せんだいメディアテーク」が、今年1月26日に仙台市民注目のなかで開館した。

事業の概要

施設名：「せんだいメディアテーク」
 所在地：仙台市青葉区春日町2-1
 敷地面積：3,948㎡
 主要用途：図書館、美術館、興行場
 建築面積：2,933㎡
 延床面積：21,682㎡
 階数：地上8階、地下2階
 高さ：36.5m
 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
 工事期間：平成9年12月～平成12年7月
 事業費：約130億円



施設の特徴

「せんだいメディアテーク」は、「テーク」がフランス語で入れ物や棚を意味するところから、市民図書館、市民ギャラリー、視聴覚教材センター等既存



外観南東面



1階 オープンスクエア



1階 エレベーターホール

の施設を集合し、メディアを通して学ぶこと、メディアを楽しむことができる、あらゆる利用者の文化活動や学習をサポートする複合施設（入れ物）として「メディアテーク」と名付けられた。

この施設の特徴は、バリアフリーを目指し、障害の有無に関わらず利用できるよう、手話スタッフや点訳、録音テープ、対面朗読などの他、視聴覚障害者の方々には音声で誘導する装置や、触れると音声で知らせる案内模型等による情報提供も行っている。

定禅寺通りに面する外装は、全面が2層のガラスとなっており空調負荷の低減を図るとともに、自然のなかにいるのと同じような空間を提供している。また、内部は壁を少なくすることにより、大空間を作り出し各種のイベント等に対応できるようになっている。各フロアがオープンな雰囲気の中で様々な機能や、それを使う機会を提供する「場」として、使い方を利用者と一緒に作り上げていく、新しい公共施設を目指している。

受賞賛助会員 安藤建設(株)、(株)熊谷組